

公益財団法人京都伝統産業交流センター

第1 法人の概要

1 代表者

理事長 渡邊隆夫

2 所在地

京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1 京都市勧業館内

3 電話番号

075-762-2670

4 ホームページアドレス

<http://www.miyakomesse.jp/fureaika/> (京都伝統産業ふれあい館)

5 設立年月日

昭和52年3月29日

6 基本財産

11,000千円 (うち本市出せん額 5,000千円, 出せん率 45.5%)

7 事業目的

伝統産業の啓発及び振興に関する事業を行い、地域経済の発展と生活文化の向上に寄与すること。

8 業務内容

- (1) 京都市勧業館常設展示場の展示事業
- (2) 伝統産業に関する振興及び啓発事業
- (3) 伝統産業製品の提供事業

9 所管部局

産業観光局商工部伝統産業課 (TEL075-222-3337)

10 役員名等

(1) 理事長

渡邊隆夫

(2) 副理事長

池田佳隆

(3) 専務理事

八田誠治

(4) 理事

田中雅一, 森俊次, 佐藤敬二, 藤井浩一, 三原陽市郎, 波部美利, 林史己, 谷村紗恵子,
安河内博 (産業観光局商工部長), 伊藤圭一

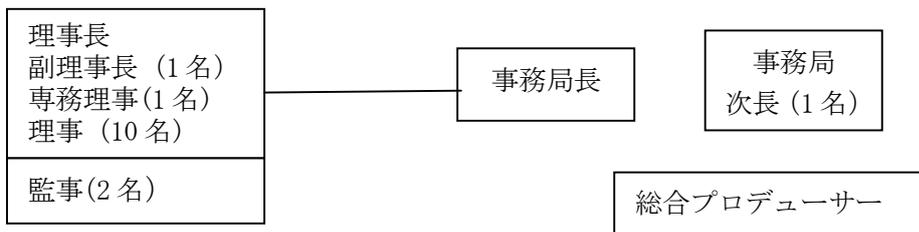
(5) 監事

大西英生, 藤井正昭

11 常勤職員数

6人 (うち本市派遣職員2人)

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成27年度決算

(1) 事業報告

ア 常設展示場

展示内容の魅力向上及び来館者へのサービス向上のための取組を実施した。

(ア) 学校やグループ、外国人観光ツアー団体などに対して、見学に合わせて説明を行った。

(98団体/3,269人)

(イ) 業界団体の協力を得て、四季折々の魅力ある展示替えを実施した。

(96回/475点)

(ウ) 特別ガイドツアー 平成27年8月30日、10月25日、平成28年3月21日

(エ) 「岡崎ときあかり」事業との連携により、夜の岡崎の盛上げとPRを行った。

イ イベントルーム

当財団主催の企画展や、関連業界団体との共催事業、常設展示との相乗効果が期待できる展示会、体験教室などを実施した。(42事業)

ウ ギャラリー

業界団体の協力により、「京鹿の子絞工芸美展」などの企画展示を、年間を通して6回実施した。

エ 企画展・催事

ふれあい館を知らない方々にもPRすることを目的として、新たな事業を実施した。

(ア) 世界最大の手づくり魔鏡展示 平成27年8月1日～

(イ) 「琳派展-ここにも琳派-」 平成27年10月1日～11月30日

(ウ) 京都国際映画祭への協力(職人ワークショップ) 平成27年10月17日、18日

(エ) 職人さんの実演まつり 平成28年3月1日～3月31日

(オ) 「粋だね!芸人と京の職人さん」 平成28年3月19日

(カ) 京都国際映画祭パネル展 平成28年3月1日～3月31日

オ 多言語化対応

館内表示について、従来の日本語・英語・点字に加えてフランス語・簡体字・繁体字を作成。パネルでなく紙資料とし、新たに作成したデータはウェブサイトからも利用できる形にした。

カ 摺型友禅染体験事業

伝統技法に則り、世界に一つしかない自分ものが製作できる摺型友禅染体験事業を実施した。平日・土曜・祝日は、予約制により修学旅行生や団体を中心に受け入れ、日曜は、家族連れや少人数団体を随時受け入れた。なお、人件費などのコストを鑑み、平成27年6月に料金を改定した。

また、京都マンガアニメフェア(「京まふ」)と連携し、アニメの型を使った摺型友禅染の体験も実施した。

平成27年度 3,573件 3,357,720円

キ 「匠と舞」事業

地域における雇用機会の創出と、将来の需要開拓に向けた取組の実施を図るため、国の緊急雇用対策交付金を活用した京都市からの受託事業として、平成21年6月から「匠と舞」事業を実施している。常設展示場において職人による伝統工芸品の製作実演を行うとともに、歩く伝統産業とも言える舞妓さんによる舞台を披露し、「京都伝統産業ふれあい館」への集客や伝統産業の積極的なPRに努めた。

(ア) 制作実演

常設展示場内において、伝統工芸品の製作実演を行った他、国際会議やホテルの催事、観光案内所等の要望に応じて職人を派遣し、実演販売を行った。

(イ) 舞妓舞台

毎月第3日曜日に、花街の舞妓さんによる舞台開催(約15分間×3回)し、衣装や装飾

品に使われる各種の伝統工芸品（西陣織，京友禅，花かんざしなど）の解説などを通して、京都の花街の伝統と文化を支えてきた伝統産業をPRした。

ク 広報広聴事業

(ア) 広報宣伝活動

a 費用対効果の高い広報手段の活用

- (a) SNS（Facebook, Twitter, Instagram）や口コミサイト（Tripadvisor）への投稿
- (b) 観光案内所やホテル，タクシー会社等への情報提供
（ニュースレター，パンフレット設置，工芸品展示や職人実演の協力，研修実施等）
- (c) 国内外メディア取材への積極対応
（海外メディアの取材対応は平成26年度0社⇒平成27年度20社）
- (d) 一部の催事をPRにたけた事業者（よしもとクリエイティブエージェンシー等）と共同実施

b 岡崎地域活性化の取組との連携

- (a) ロームシアターや案内所，PRサイト（岡崎コンシェルジュ）への情報提供とパンフレット設置等の相互協力
- (b) 岡崎で開催されるイベント（京都マラソン，桜回廊ライトアップ等）への協力

(イ) その他の取組

- a （公財）大学コンソーシアム京都の協力により，留学生PR隊による取材や留学生向け研修を実施
- b 二条通からの視認性を高めるため，入口ゲートを設置

(ウ) 広聴活動

来館者アンケートを平成27年11月から実施し，満足度や有料化に対する意見を聴取

ケ 工房訪問

京都を訪れる方々により深く伝統産業の魅力を知っていただき，購入につなげる取組として中小企業庁の補助金も活用しながら平成27年度は試行的に実施した。

訪問を希望するグループや個人と工房とをふれあい館がマッチングする仕組みで，受入に積極的な19工房の情報を取りまとめ，日本語・英語でウェブサイト及びパンフレットを作成し，観光事業者等向けの視察会も開催した。

この結果，平成28年度に定期観光バスや京の夏の旅，オンライン旅行会社等による工房訪問の商品化が見込めることとなった。

平成27年10月5日 STS フォーラム（国際会議）参加者向け試行実施（18名参加）

平成27年12月4日，5日 鷹峯フォーラム参加者向け試行実施（26名参加）

平成28年3月9日，14日 観光事業者向け視察会開催（20名参加）

コ 提供事業

(ア) オンラインショップ，法人向け記念品等

平成24年3月からオンラインショップ「京もの専門店『みやび』」の運営を行っている。

平成27年度は国内の販売に加え，中国でのオンライン販売も事業者の協力を得て開始した。また，経費のかかる百貨店等への出店を抑える一方で，（公財）京都文化交流コンベンションビューローの協力により京都で開催される国際会議等での記念品需要を取り込んだ。この結果，国際会議専門の事業者から引き合いも増え，会議場での職人の実演要望も出てくるなど相乗効果が生まれている。

平成27年度全体として，売上額はもとより販売事業の利益率も向上した。

平成27年度売上金額19,232,862円（平成26年度売上金額15,751,087円）

(イ) 常設展示場での販売

常設展示場では，各組合の協力のもと販売可能な作品の展示を増やしている。平成27年度はカード利用可能なことを展示場の随所に明記するなどし，売上はやや伸びた。

平成27年度売上金額1,838,475円（平成26年度売上金額1,713,966円）

サ 図書室利用状況

平成 27 年度の図書室の入室者は 11,516 人，貸出冊数は 400 冊であった。

(平成 26 年度 12,877 人，503 冊)

シ その他の事業

(ア) KYO-MONO is COOL!プロジェクト実行委員会の事務局受託

若手職人による，京ものを PR する取組 KYO-MONO is COOL!プロジェクトの事務局業務を受託し，関係強化を図った。

(イ) ふれあい館サロン（職人と他業種との交流会）

職人の他業種交流会の試行として，第一回は京都に暮らす外国人との交流会を行った。

開催日 平成 28 年 1 月 29 日

参加者 職人 8 名，外国人 10 名

(ウ) 新設ホテル等への伝統産業製品導入

平成 27 年度は 5 事業者と接触，うち 3 事業者でふれあい館の紹介を経て京都の伝統産業製品が一部採用された。

(2) 財務諸表

貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	12,724	2,844	9,880
未収金	5,470	2,312	3,158
立替金	287	0	287
流動資産合計	[18,481]	[5,156]	[13,324]
2. 固定資産			
(基本財産)			
定期預金	11,000	11,000	0
基本財産合計	(11,000)	(11,000)	(0)
(特定資産)			
退職給付引当資産	539	1,081	△ 543
特定資産合計	(539)	(1,081)	(△ 543)
(その他固定資産)			
出資金	5,000	5,000	0
什器備品	1,293	47	1,246
電話加入権	80	80	0
ソフトウェア	0	15	△ 15
図書	8	8	0
その他固定資産合計	(6,380)	(5,150)	(1,230)
固定資産合計	[17,919]	[17,231]	[688]
資産合計	36,400	22,387	14,012
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,909	6,005	△ 1,096
預り金	960	276	684
未払法人税等	70	70	0
未払消費税等	2,475	0	2,475
流動負債合計	[8,415]	[6,351]	[2,064]
2. 固定負債			
退職給付引当金	539	1,081	△ 543
固定負債合計	[539]	[1,081]	[△ 543]
負債合計	8,953	7,432	1,521
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出えん金	5,000	5,000	0
指定正味財産合計	[5,000]	[5,000]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(5,000)	(5,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[22,446]	[9,955]	[12,491]
(うち基本財産への充当額)	(6,000)	(6,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(539)	(1,081)	(△ 543)
正味財産合計	27,446	14,955	12,491
負債及び正味財産合計	36,400	22,387	14,012

正味財産増減計算書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	3	△ 3
事業収益	8,223	6,064	2,158
受取補助金等	60,396	55,624	4,772
受取負担金	0	1,000	△ 1,000
雑収益	492	141	351
経常収益計	69,110	62,832	6,278
(2) 経常費用			
事業費	38,427	51,314	△ 12,887
管理費	18,192	16,823	1,368
経常費用計	56,619	68,137	△ 11,519
当期経常増減額	12,491	△ 5,305	17,797
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	12,491	△ 5,305	17,797
一般正味財産期首残高	9,955	15,261	△ 5,305
一般正味財産期末残高	22,446	9,955	12,491
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000	5,000	0
指定正味財産期末残高	5,000	5,000	0
III. 正味財産期末残高	27,446	14,955	12,491

2 平成28年度事業計画

(1) 事業計画の概要

平成28年度は総合プロデューサーを核に次の新規／充実事業を進める。併せて、従来の「常設展示事業」「振興・啓発事業」「提供事業」も刷新しつつ進める。

ア 異業種交流事業（ふれあい館サロン）【新規】

イ ふれあい館20周年事業【新規】

ウ 展示の刷新【新規】

エ 工房訪問事業【充実】

オ 職員強化（展示刷新，外国人対応）【充実】

(2) 予算

正味財産増減予算書
平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	5	5	0
事業収益	8,000	2,900	5,100
受取補助金等	56,636	49,970	6,666
雑収益	311	61	250
経常収益計	64,952	52,936	12,016
(2) 経常費用			
事業費	47,506	32,206	15,300
管理費	17,446	20,730	△ 3,284
経常費用計	64,952	52,936	12,016
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	16,955	15,261	1,695
一般正味財産期末残高	16,955	15,261	1,695
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000	5,000	0
指定正味財産期末残高	5,000	5,000	0
III. 正味財産期末残高	21,955	20,261	1,695

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H25 (決算)	H26 (決算)	H27 (決算)	H28 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	78,319	62,832	69,110	64,952
	当期経常増減額	△3,948	△5,305	12,491	0
	当期正味財産増減額	△3,948	△5,305	12,491	0
貸借対照表	総資産	25,707	22,387	36,400	/
	総負債	5,447	7,432	8,953	
	正味財産	20,261	14,955	27,446	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H25 (決算)	H26 (決算)	H27 (決算)	H28 (予算)
委託料	京の「匠」ふれあい事業	11,000	4,000	4,000	
	京都伝統産業ふれあい館運営	30,000	27,000	27,000	
	隗より始めるプロジェクト	1,900	200	200	
	伝統産業ふれあい館における製作実演・体験教室事業	30,500			
	チーム「みやび」プロジェクト		7,000		
	オンラインショップの運営を通じた就職支援事業		12,050	3,950	
	京もの魅力発信販売促進キャンペーン		2,450		
	世界最大の手づくり魔鏡展示事業			100	
	琳派展事業			2,500	
	外国人観光客に対する伝統産業の魅力向上事業			4,075	
	ふれあい館活性化事業			10,000	
二条通からの視認性向上のアーチ製作			1,269		
補助金	京都市伝統産業振興事業補助金			4,724	5,436

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> 経費削減や事業内容の見直しにより黒字化を達成できたことは大いに評価できる。今後も財務面での健全化・安定化を図っていくことが必要である。
事業面	<ul style="list-style-type: none"> 体制の強化により、昨年度は観光事業者等との連携や需要の掘り起こし、異業種交流等に注力し、普及・啓発施設としての「京都伝統産業ふれあい館」にとどまらず、需要の拡大と販売を支援する役割も果たすよう努力され、様々な点で魅力向上が図られた点は大いに評価できる。今後も、引き続き魅力向上に努めるとともに、来館者数増加に向けさらなる方策を検討することが必要である。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> 補助金及び委託業務の増加と経費節減によって正味財産増減額の黒字化を実現したが、今後も財務状況の安定化が課題である。
事業面	<ul style="list-style-type: none"> 体制強化によるインバウンド需要の取り込み強化を図っており、一定の成果が認められるが、今後も成果を拡大すべく創意工夫が必要である。